

## ヒラギノフォント、高速道路標識の和文書体に採用 ～案内標識の視認性のさらなる向上に貢献～

大日本スクリーン製造株式会社のメディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニーが製造・販売するヒラギノフォントが、東日本高速道路株式会社・中日本高速道路株式会社・西日本高速道路株式会社(以下、NEXCO東日本・中日本・西日本)による全国の高速道路標識の技術基準の見直しにおいて、高速道路の案内標識に使用される和文書体として新たに採用され、現在全国で設置が進んでいます。

高速道路において円滑な走行を支援するための案内標識には、何よりもドライバーに対して分かりやすいことが求められ、その視認性は大変重要な要素となっています。このたび、NEXCO東日本・中日本・西日本の高速道路標識の技術基準の見直しにおいて、複数のゴシック体を用いた比較検討を経て、「ヒラギノ角ゴシック体 W5」の加工書体が全国の高速道路の新たな案内標識の和文書体として採用されました。「ヒラギノ角ゴシック体 W5」の採用の背景については、文字の端部が強調され末広がりになったデザイン、つぶれにくく遠くからも読みやすい点、他のゴシック体と比較して一つ一つの部首が明瞭で瞬間的に認識しやすいことなどが評価されました。これまで必要に応じて一字一字制作されてきた従来の書体に代わり、デジタルフォントによる精度の均一化、制作工程・管理の合理化も可能になるなどの利点に加え、ヒラギノフォントの「美しく、読みやすく、つぶれにくい」という特長が高速道路標識の視認性向上に効果を発揮することとなります。

ヒラギノフォントは、アップル社のMacに標準搭載されているほか、書籍や雑誌の本文書体、テレビ番組やCMのテロップ、企業制定書体(コーポレートフォント)、フォトブックサービスなど数多くの採用実績があります。当社は、今後も美しく読みやすい書体の開発、販売を通じて、日本の文字文化の発展に貢献してまいります。



従来の標識



ヒラギノフォント(和文部分)を採用した新標識

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアアンドプレジジョンテクノロジーカンパニー ビジネス統轄部 マーケティング・コミュニケーション課:  
Tel 075-414-7610 Fax 075-417-2705 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目